意見発表

高知県ハイヤー・タクシー協議会会長
全国道路利用者会議
副会長
楠瀬賢一

私は、高知県道路利用者会議の楠瀬と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、本日はこの様な意見発表の機会を、大変ありがたく感謝を申し上げるしだいでございます。私からは、高知県道路利用者会議の代表といたしまして、実際に道路を利用させていただいているユーザーといたしましての立場から私の意見を申し上げさせていただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

私が住む高知県では、高規格道路網、いわゆる四国８の字ネットワークという計画がございます。この度、高知県東部自動車道が昨年４月に高知竜馬空港ＩＣまで延伸することができました。これによりまして陸海空の玄関である高知自動車道と高知新港、そして、高知竜馬空港のアクセス性が向上いたしまして、特に高知市からの空港までの移動時間がよくなったわけでございます。大変感謝いたしております。

また、高知新港には、クィーンエリザベス等大型クルーズ船が本年は約70隻近い計画されておるわけでございまして、多くの観光客の皆様にお越しいただいておるところでございます。お越しいただいた観光客の皆様にはバスやタクシーで、郊外まで足を伸ばしていただき、高知の歴史や文化、料理を楽しんでいただいているといった効果も現れておるところでございます。

しかしながら、高知県の４の字ネットワークは、多くのミッシングリンクが残っておるわけでございます。そういう状況でありますので、高知県の高速道路の多くが暫定２車線でございます。暫定２車線というのは、地元では高速道路と呼びません。中速道路と呼びます。そういう呼び方もされておりますが、高速道路の最大のメリットであります、高速性や定時性が確保できない場合が非常に多い。地域の隅々まで高速道路効果が行き渡っていないのが現状でございます。このため、未整備区間の解消や４車線化を早期に実現していただくことが不可欠であります。

これに加えまして、渋滞対策、老朽化対策、あるいは交通安全対策等、道路ユーザーの目線に立った施策を推進し、そういったものを要望するところでございます。合せて高速道路から市町村道までを計画的に、そして着実に整備を行っていただくことで安全で安心して通行できる道を確保し、さらに地域経済の活性化を実現するためには、道路予算の確保が不可欠であります。

平成30年度以降は、ご案内の通り地方自治体の負担をこれまで以上に軽減していただき、これまで以上にスピード感をもって整備を促進を図っていただきたいということを強くお願いを申すものであります。

最後になりますが、私も同じ思いを持つ全国のユーザーの皆さんと協力いたしまして、地方からの声を声高々に申し上げまして、私からの意見発表とさせていただきたいと思います。

主張

環状道路の整備

関西には産業、観光資源等が集積し、高速道路ネットワークが整備されてきているが、それでも大阪周辺では慢性的に渋滞が発生している。これは、まだネットワークが不十分で特定の箇所に交通が集中していることが原因であり、この緩和に必要なネットワークの一つが環状道路の整備であろう。混雑していた都心部の機能が円滑になるとともに、拠点へのアクセス向上により地域経済が活発になることなどが、環状道路の主な機能として考えられている。

さて、首都圏を見てみると、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）、東京外かく環状道路（外環道）、首都高速中央環状線（C2）と3つの環状道路プロジェクトが進行している。最近では、圏央道が境古河ＩＣ～つくば中央ＩＣ間の開通（平成29年2月）により全体区間の約9割が完成し、6つの放射状の高速道路が結ばれることとなった。これによって、都心部を通過せずに千葉県の成田空港から茨城県、埼玉県を経て神奈川県の湘南まで行けるようになり、観光や物流へ与える効果は計り知れない。

一方、関西の高速道路で環状道路といえば、大阪都心部にある阪神高速1号環状線が思い浮かぶ。阪神高速はこの1号環状線を中心にして、都心部と郊外をつなぐ放射状に路線を延ばしていった。放射状のネットワークは拡充されていったが、環状道路は未だに1号環状線だけであるため、目的地に向かうにあたり都心部に用はなくても1号環状線を経由せねばならず、かつ、1号環状線に向かう経路は限定されてしまうこととなっている。これが、ドライバーに経路選択の余地がないための交通集中を招き、時間損失などを発生させて経済・産業に影響を与えているのだと思われる。

このような中、新たな環状道路として1号環状線の外側に「大阪都市再生環状道路」が計画されている。この環状道路は、阪神高速6号大和川線、4号・5号湾岸線、2号淀川左岸線、近畿自動車道などで構成されており、①都心部への流入・通過交通が減ることによる渋滞緩和、沿道環境の改善、②新幹線、空港などの交通拠点へのアクセス向上、③災害時の広域緊急交通路としての役割、④渋滞緩和による公共交通機関などの運行への信頼回復、⑤交通ネットワークの整備により、商業・業務・文化などの機能を持つ新たな都市拠点の形成などの効果が期待されている。現在、大阪都市再生環状道路は一部区間が途切れてミッシングリンクとなっているが、環状道路としての本来の機能を発揮し、関西経済を活性化するため、早期に整備されることを望んでいる。

平成29年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品決定

この道で　おはよう
さよなら　ありがとう

国土交通省では、「道路ふれあい月間」における活動の一環として、昭和41年から、毎年一般から「道路ふれあい月間」推進標語を募集している。本年は全国から6，841作品の応募があり、三好礼子委員（エッセイスト、元国際フリーストン、やすみりえ委員（川柳作家、文化庁文化審議会委員）、吉岡耀子委員（交通・環境ジャーナリスト）による審査が行われ、「小学生の部」「中学生の部」「一般の部」の部門毎に最優秀賞1作品ずつと優秀賞2作品ずつの計9作品が選定されました。

○最優秀賞
【小学生の部】
「きれいでしょ　わたしの町の　通学路」
福田勘太さん（北海道）
【中学生の部】
「たくさんの　夢を抱いて　歩く道」
渋澤花奈さん（東京都）
【一般の部】
「この道で　おはよう　さよなら　ありがとう」
大澤佳子さん（千葉県）

○優秀賞
【小学生の部】
「登下校　まいにちあるいて　こんにちは」
美坂謙昇さん（鹿児島県）
「朝の道　耳をすませば　鳥の声」
小林姫々さん（北海道）
【中学生の部】
「踏みしめる　道の先には　夢がある」
田野智子さん（兵庫県）
「あいさつが　飛びかうこの道　グローバル」
矢野大樹さん（東京都）
【一般の部】
「変わらない　いつもの道の　温かさ」
佐々木美知子さん（埼玉県）
「いい道が　きっといい明日　連れてくる」
會田誠一さん（神奈川県）

詳細は国土交通省のホームページで　https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000847.html

高速道路に関するお知らせ

速旅 地域・観光施設提携型ドライブプラン

http://www.c-nexco.co.jp/

NEXCO中日本は、高速道路の定額利用と観光施設の入場券や食事などをセットにしたETC車限定のドライブ旅行商品『速旅 地域・観光施設提携型ドライブプラン』を6月1日から発売する。

【利用期間】
平成29年6月15日（木）～平成30年3月31日（土）
※施設により利用期間および利用できない期間が異なる。

【販売プラン】
1．SA・PAお買物券付きドライブプラン〈三重県版〉
▽SA、PA（三重県内の高速道路SA・PA限定）▽お買物券5，500円分を5，000円で提供
※御在所SA（下り）のみで引換
2．鬼ヶ城センタードライブプラン
▽鬼ヶ城センター（三重県）▽食事2名分（コーヒー付）と熊野特産品セット（6，880円相当）を6，000円で提供
3．越前松島水族館ドライブプラン
▽越前松島水族館（福井県）▽水族館入館券を10％割引で提供

【利用方法（全プラン共通）】
利用開始日の前日までにNEXCO中日本公式WEBサイトから申込。
※ただし、8月以降の利用については、利用開始日の前月の1日から受付を開始する。

【その他（全プラン共通）】
本プランはETCの普通車・軽自動車等（二輪車含む）限定。
高速定額利用または観光施設利用のどちらか一方のみの申し込みはできない。

ぶらり中国ドライブパス2017

夏期限定でさらに便利に！

NEXCO西日本、岡山県、広島県及び山口県は、現在実施している「ぶらり中国ドライブパス2017」において、7月・8月限定で新たな割引プランを追加する。期間中各地域では様々なイベントも開催予定。

【実施期間】
平成29年7月1日（土）から8月31日（木）まで
※8月10日（木）から8月16日（水）は除く

【内容】
発着エリアから周遊エリアまでの1往復と、周遊エリア内の走行が定額料金で利用可能。

【対象車種】
ETCによる走行が可能な普通車及び軽自動車等（二輪車含む）

【利用日】
実施期間のうち連続する最大3日間（利用開始日の0時から翌々日の23時59分まで）有効。

【申込・詳細】「みち旅」
http://www.michitabi.com/

高速道路から「道の駅」に立ち寄り可能に

高速道路ネットワークを賢く使う取り組みの一環として、休憩施設の不足に対応し、良好な運転環境を実現するため、高速道路からの一時退出を可能とする試行を道の駅「玉村宿」・「もっくる新城」において行う。

今般、高速道路からの乗り降りを自由とし、「道の駅」への立ち寄りを可能とすることで、高速道路利用者が、休憩や買い物、食事、周辺の交通観光情報の入手、またEVの充電など、道の駅が提供する多様なサービスを利用可能となる。また、道の駅においても、広域的な利用者増加による地域活性化が期待できる。

ETC2．0搭載車を対象に、高速道路を対象ICで流出し、「道の駅」に立ち寄り後、1時間以内に同ICから再流入して順方向に利用した場合、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整する。

《玉村宿》
▽開始日時／平成29年5月27日（土）0時
▽実施箇所／関越自動車道 高崎玉村スマートIC・道の駅 玉村宿

《もっくる新城》
▽開始日時／平成29年6月24日（土）0時
▽実施箇所／新東名高速道路 新城IC・道の駅 もっくる新城

詳細は各社ホームページで　NEXCO東日本　http://www.e-nexco.co.jp/
NEXCO中日本　http://www.c-nexco.co.jp/

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】
◇東名高速道路　横浜青葉IC下り線出口・入口
6月24日（土）、25日（日）、26日（月）、7月1日（土）　21:00～6:00
7月22日（土）～7月23日（日）　21:00～14:00

【工事規制】
◇長野自動車道
安曇野IC～麻績IC　5月9日（火）～7月14日（金）
◇中央自動車道
岡谷JCT～伊北IC　5月29日（月）～7月14日（金）
◇伊勢湾岸道
豊田南IC～豊明IC（下り線）　6月17日（土）6:00～7月2日（日）18:00
◇中国自動車道
小郡IC～山口JCT　5月15日（月）～8月上旬
福崎IC～山崎IC　5月18日（木）～8月3日（木）
六日市IC～吉和IC　5月25日（木）～10月下旬
庄原IC～東城IC　6月15日（月）～10月下旬
高田IC～三次IC　6月19日（月）～10月下旬
美祢東JCT～小郡IC　8月28日（月）～11月上旬